

# 令和4年度当初予算のポイント

四日市市 財政課 Tel. 354-8130

## 1. 当初予算の編成

令和4年度当初予算の編成にあたっては、国の方針に沿って、新型コロナウイルス感染症の感染拡大・重症化の防止と経済社会活動を両立する「新しい国民生活の姿」の実現に向けて取り組むほか、感染状況に応じた市民生活や事業活動へのきめ細かい支援とともに、コロナ禍において社会経済構造の大きな変化が生じている状況を踏まえ、ポストコロナ時代の持続的な成長基盤を構築していくため、民間投資やイノベーションを誘発する新たな成長の源泉となる「グリーン（環境）」や「デジタル」などの取り組みを加速することとしました。

また、引き続き推進計画の着実な進捗を図るため、新型コロナウイルス感染症対策経費や推進計画事業に予算を集中配分するとともに、長期化するコロナ禍の中、市民生活を元気づけ、地域経済活動の活性化を図るための施策・事業などを含め、積極的な予算編成を行ったところです。

その結果、令和4年度一般会計当初予算の規模は1,309億2,000万円となり、前年度の1,211億6,000万円と比べて97億6,000万円・8.1%増加し、過去最高額を大幅に更新しました。

一方、歳入については、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中でも、製造業を中心とした市内企業の業績が堅調に推移しており、令和4年度の市税収入が716億8,530万円と引き続き高い水準を維持すると見込まれるほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金7億1,851万円、財政調整基金繰入金22億5,610万円やまちづくり事業基金繰入金2億2,501万円などを活用し、収支の均衡を図りました。

## 2. 予算規模

	〔令和4年度当初予算額〕	〔対前年度比〕
一般会計	1 3 0 9 億 2 0 0 0 万円	( 8. 1%)
特別会計	7 9 4 億 5 7 4 0 万円	( 0. 0%)
企業会計	6 5 2 億 2 9 8 0 万円	( Δ 1. 2%)
財産区	4 8 9 0 万円	( 1. 0%)
計	2 7 5 6 億 5 6 1 0 万円	( 3. 4%)

国の一般会計当初予算	対前年度比	0. 9%
地方財政計画（通常収支分）	対前年度比	0. 9%

### 3. 新事業、拡充事業、主要事業

(総合計画 分野別基本政策順)

#### 1 子育て・教育

- ① 民間保育所整備事業（当初予算資料 P92） 予算額 617,869 千円  
かわしま保育園の増改築（定員 110 名⇒150 名）、(仮称) 日永ハートピア保育園の新設（定員 170 名）に要する施設整備費を補助する。
- ② 【拡充】 保育士等人材確保事業（当初予算資料 P93） 予算額 181,765 千円  
共働き家庭の増加等に伴い、保育の利用ニーズが高まっている中、従来の処遇改善等に加え、市内の保育施設で働くことの魅力を伝える新たな情報発信等に取り組み、保育士等の確保及び定着化を図る。
- ③ 【拡充】 途切れのない発達支援事業（当初予算資料 P94） 予算額 27,624 千円  
支援が必要な児童に対し、特性に応じた教室を開催するとともに、日常の保育等の中でも適切な支援が行えるよう保育士等のスキルアップを図る。また、障害児通所支援事業所の質の向上をねらいとした研修会を実施するほか、令和 4 年度より相談支援事業所の体制強化に資するための補助事業等を実施し、途切れのない支援の充実に取り組む。
- ④ 不妊治療医療費助成事業(当初予算資料 P95) 予算額 62,500 千円  
不妊治療を行っている夫婦に対し、不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、不妊治療に係る経費の一部を助成する。令和 4 年 4 月から不妊治療が保険適用となることに伴い、助成上限額を 5 万円に改めて、制度を継続する。
- ⑤ 【拡充】 妊産婦・乳幼児健康診査充実事業(当初予算資料 P96) 予算額 29,137 千円  
生後間もない時期から子どもの健康状態と養育環境を把握するため、1 か月児健康診査費用の一部助成を開始する。また、聴覚障害による音声や言語発達などへの影響を最小限とするため、任意で実施している新生児聴覚スクリーニング検査にかかる費用の一部助成を行う。
- ⑥ 【拡充】 多胎児育児支援事業（当初予算資料 P97） 予算額 2,230 千円  
多胎児育児の負担や不安の軽減を図るため、希望に応じて多胎児家庭に助産師が訪問し、心身のケアや、授乳指導、育児のサポート等を行うことで、育児不安を軽減するとともに、安心して子育てができる支援体制の確保を図る。
- ⑦ 四日市市奨学金支給事業（当初予算資料 P175） 予算額 34,840 千円  
子育て家庭の経済的負担を軽減し、意欲ある学生が希望する進学先に進めるよう、経済的理由から修学が困難な高校生、大学生等を対象とした奨学金を支給する。また、返還免除型を併用することで、卒業後の定住促進にもつなげていく。
- ⑧ 高花平小学校改築整備事業費（当初予算資料 P176） 予算額 535,400 千円  
高花平小学校校舎の機能面の課題（ベランダ廊下、段差など）を解消するために改築整備を行い、学習環境の充実・改善を図る。

⑨（仮称）四日市市学校給食センター整備運営事業（当初予算資料P178）

予算額 3,081,100千円

成長期にある中学生によりふさわしい給食を提供するとともに、給食を通じて食育や地産地消を推進するため、全員喫食を前提とした食缶方式による中学校給食の令和5年度からの開始に向け、学校給食センターや受入校の整備を完了する。

⑩【拡充】新教育プログラム推進事業（当初予算資料P180） 予算額 204,672千円

新学習指導要領の着実な実施やSociety5.0社会など、教育を取り巻く新たな課題に対応するため、本市独自の「新教育プログラム」において、6つのテーマ（柱）ごとに就学前から中学校卒業時まで育成すべき資質・能力を掲げ、その実現に向けた取組を進める。

- ・市独自の社会科副読本「のびゆく四日市」のデジタル化

⑪【拡充】部活動サポート事業（当初予算資料P182） 予算額 11,111千円

国が進める休日の部活動の段階的な地域移行に対応し、部活動指導員・部活動協力員の配置や、総合型地域スポーツクラブとの連携を図ることで、持続可能な部活動と教員の負担軽減を実現する。

- ・部活動指導員の配置（6校→21校）
- ・総合型地域スポーツクラブとの連携（1校 4部活→6部活）

⑫【拡充】「チーム学校」推進事業（当初予算資料P183） 予算額 48,876千円

いじめ、不登校、発達障害、家庭環境、ヤングケアラーなど子どもをめぐる多様な問題が発生する中、教職員と専門的なスタッフが連携し、「チーム学校」として課題解決に向けた取り組みの充実を図り、早期かつ継続的な対応を行う。

- ・拠点巡回型スクールソーシャルワーカーの拡充配置 5中学校区→7中学校区
- ・スクールカウンセラー市配置校の拡充（26小学校→28小学校）
- ・いじめ相談アプリの導入

⑬【拡充】不登校対策推進事業（当初予算資料P184） 予算額 30,895千円

登校サポートセンターを核とし、校内ふれあい教室設置校に配置する不登校対応教員、全小中学校に設置する校内委員会と連携した取組を進めることで、不登校支援体制の充実・強化を図る。

- ・不登校対応教員の拡充配置 中学校6校→中学校9校

⑭【拡充】インクルーシブ教育推進事業（当初予算資料P185） 予算額 231,909千円

障害等があっても、合理的配慮のもとで共に学ぶというインクルーシブ教育を推進する。

- ・サポートルームの充実（小学校24校→小学校28校）
- ・介助員・支援員の適正配置（介助員123人→125人、支援員33人）
- ・特別支援教育コーディネーターの活動支援（小学校21校→小学校24校）

⑮【拡充】ICT活用による学習環境整備事業（当初予算資料P186）

予算額 418,666千円

児童生徒1人1台のタブレット端末、大型提示装置等のICT機器を効果的に活用し、多様な子どもたち一人ひとりの資質や能力を最大限に引き出すことで、「四日市市GIGAスクール構想」を実現する。

- ・個別学習支援ソフトウェアの導入

・各学校とインターネットを接続するネットワークの増強

⑩【拡充】学校業務サポート事業（当初予算資料P187） 予算額 58,874千円  
（うち、学校教育課分52,835千円、教育支援課分 6,039千円）

多忙な教職員の現状を働き方改革の視点から改善するため、アプリを使用した、学校と保護者の双方向連絡システム（統合型連絡システム）を導入し、欠席連絡など家庭から学校への連絡等を可能とするほか、配付文書のデジタル化や校務支援システムとの連携により、保護者の利便性向上と教職員の負担軽減を図る。

また、学校業務アシスタントの全校配置を継続するほか、高性能コピー機を活用する。

## 2文化・スポーツ・観光

① 文化会館整備事業（当初予算資料P63） 予算額 98,220千円

施設を安全で良好な状態で使用できるよう、老朽化した給排水管や空調設備、発電設備、消防設備等の更新を計画的に行うための設計を行う。

② 観光施設整備事業費（当初予算資料P102） 予算額 75,380千円

四日市スポーツランドのセンターハウス改修工事やもみじ谷散策路内の安全対策等を行う。

③【新】四日市コンビナート夜景ランフェスティバル開催事業（当初予算資料P158）

予算額 14,818千円

新型コロナウイルス感染症の収束後に開催を目指している四日市ハーフマラソンに向けた機運醸成を図るため、プレイベントとして霞ヶ浦緑地において「四日市コンビナート夜景ランフェスティバル」を開催する。

④【新】大規模大会等開催事業費補助金（当初予算資料P159） 予算額 35,000千円

開催中止となった三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて培ったレガシーを活用し、両大会の中止により喪失したトップレベルの競技を観る機会を設けるため、両大会正式競技・種目の国際大会・全国大会の誘致を図る。

⑤【新】温水プール整備事業（当初予算資料P160） 予算額 26,800千円

老朽化した温水プールの安全性・快適性を高めるため、改築に向けた調査・設計を行う。

⑥【新】Wi-Fi環境整備事業（スポーツ施設）（当初予算資料P161）

予算額 23,900千円

四日市市総合体育館、四日市テニスセンター及び四日市ドームにおいて、来場者の利便性向上並びに大規模大会の誘致にかかる競争力強化を図るため、Wi-Fi環境を整備する。

⑦ 市指定文化財「旧四郷村役場」保存整備活用事業（当初予算資料P188）

予算額 196,775千円

指定文化財として保存継承するだけでなく、館内を全面的に活用して、役場としての建物の価値や近代産業等の特色を発信する資料館としてリニューアルし、より市民に親しまれる文化財として保存整備を行う。

### 3 産業・港湾

- ① 新保々工業用地関連事業費（当初予算資料 P27） 予算額 14,800 千円  
新保々工業用地について、猛禽類の繁殖状況や居場所の把握、営巣誘導等に努めるとともに、国から譲渡された土地（溜池）を含め効率的な土地利用に向けた検討を行い、民間活力を導入した事業化を図る。
- ② 企業立地奨励金交付事業（当初予算資料 P115） 予算額 262,000 千円  
新規の企業立地や既存企業の新規設備投資、新規産業の創出などを誘発するため、立地奨励金を交付する。
- ③ 【新】四日市コンビナートカーボンニュートラル推進事業（当初予算資料 P116） 予算額 20,900 千円  
本市臨海部に立地するコンビナート事業所が、2050 年のカーボンニュートラル化を実現させるためには脱炭素化と産業振興の両立が重要な課題であることから、国、三重県と連携して「四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会」を設置し、コンビナート企業や学識経験者等とともに検討を行う。
- ④ 四日市市地場産業振興センター運営費（当初予算資料 P117） 予算額 89,731 千円  
公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センターが令和 4 年 3 月 31 日に解散することに伴い、本市が無償譲渡を受ける施設について、地場産業の育成及び振興を図るとともに、市民の地場産業に対する理解を深めることにより、地域経済の活性化並びに市民の生活の質の向上に寄与するため、「四日市市地場産業振興センター（略称：じばさん）」として運営を行うとともに、新たな産業の拠点施設として活用するための調査検討を行う。
- ⑤ 次世代農家育成事業費（当初予算資料 P118） 予算額 46,508 千円  
新規就農者の経営開始当初の不安定期を支援することで、経営の早期安定化を図るとともに、新規就農者や農業参入する企業の経営発展のための機械・施設等の導入など初期投資を支援し、次世代を担う農家の育成・定着を図る。
- ⑥ 農業センター再整備事業（当初予算資料 P119） 予算額 287,301 千円  
「儲かる農業・強い農業・新しい農業・生活の中にある農業」の拠点とすることをコンセプトとする基本構想に基づき、令和 5 年 4 月の供用開始に向け施設整備を進めるとともに、運営体制を見直し、より市民にとって利用しやすい施設へと転換する。

### 4 交通・にぎわい

- ① 【新】444 記念事業費（当初予算資料 P123） 予算額 2,000 千円  
令和 4 年 4 月 4 日という本市にとって記念すべき日を迎えるにあたり「四日市の日」と銘打った記念イベントを、エキサイト四日市・バザール実行委員会、諏訪栄町地区街づくり協議会等と連携して実施する。
- ② 【拡充】買い物拠点再生事業（当初予算資料 P124） 予算額 25,100 千円  
市民の暮らしを支える買い物拠点である商店街や、郊外住宅団地内の商業機能の維持・再生を図るため、空き店舗を活用して新規出店する事業者を支援するとともに、商店街の魅力

向上、賑わい創出のために行うイベント事業等に対する支援を行う。

③ 四日市市プレミアム付デジタル商品券事業費（当初予算資料 P126）

予算額 2,182,000 千円

新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛や営業自粛により落ち込んだ地域経済の回復や、市内の事業者のキャッシュレス化を図るため、市内で利用可能なプレミアム付デジタル商品券を発行する。

④ 近鉄四日市駅周辺等整備事業（当初予算資料 P146）

予算額 1,865,000 千円

近鉄四日市駅・JR 四日市駅周辺において、中央通り等も含めた駅前広場等の整備により、中心市街地の活性化や交通機能の向上を図る。

⑤ 防災・安全社会資本整備交付金事業費（道路）（当初予算資料 P147）

予算額 325,000 千円

商工業などの経済活動の活性化や交通機能の強化を図るため、国・県道の広域道路ネットワークと連携した市内の道路整備を行う。

・小杉新町 2 号線、泊小古曾線、曾井尾平線

⑥ 産業支援・生活拠点道路整備事業費（当初予算資料 P148）

予算額 506,220 千円

市内の幹線道路となる産業支援道路や、住宅団地を結ぶ生活拠点道路のうち、舗装劣化が進んでいる路線を計画的に再舗装することで、安全で快適な道路の機能維持を図る。また、近年著しい渋滞が発生している交通ネック箇所の改良を進める。

【再舗装】

・午起末永線、末広新正線、貝塚 13 号線ほか 2 線

【渋滞対策】

・西阿倉川 62 号線、赤堀小生線、霞ヶ浦垂坂線、三重橋垂坂線、阿倉川野田線

⑦ 【新】都市空間情報デジタル基盤構築事業費（当初予算資料 P150）

予算額 39,600 千円

デジタル技術・データを活用したまちづくりを進めるため、中央通りの再編にあわせ、都市モデル基盤となる 3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を実施する。

## 5 環境・景観

① 【拡充】環境計画推進事業（当初予算資料 P134）

予算額 27,000 千円

国の地球温暖化対策計画の改定（令和 3 年 10 月）、改正地球温暖化対策推進法（令和 3 年 5 月）に基づく再生可能エネルギーの利用促進に対応するため、第 4 期四日市市環境計画（地球温暖化対策実行計画）の見直しを行う。

② 【新】次世代自動車（電気自動車）整備事業（当初予算資料 P135）

予算額 11,000 千円

第 4 期四日市市環境計画、四日市市地球温暖化対策実行計画に基づき、移動の省エネルギー化の推進、温室効果ガス排出量の削減を図っていくため、現在、本市が保有していない電気自動車を公用車として導入する。

- ③ スマートシティ構築促進事業（当初予算資料 P136） 予算額 45,300 千円  
地球温暖化の原因となっている二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑制するため、個人の住宅に設置する新エネルギー設備等の導入を促進する。
- ④ 四日市公害判決 50 年関連事業（当初予算資料 P137） 予算額 135,364 千円  
令和 4 年に四日市公害裁判から 50 年の節目を迎えることから、企画展を開催する。また、四日市公害と環境未来館の常設展示について令和 4 年 3 月に開館から 7 年が経過し、第 4 期四日市市環境計画や SDGs を踏まえた新たな考え方、世界の環境施策などを反映するため常設展示の一部改修を行う。
- ⑤ 垂坂公園・羽津山緑地整備事業費（当初予算資料 P151） 予算額 30,000 千円  
公園内に雨水流出抑制施設及び排水管路を整備し、公園利用者の安全性を高めるとともに、周辺地への雨水流出防止を図る。
- ⑥ 合併浄化槽水質浄化促進事業（当初予算資料 P205） 予算額 76,530 千円  
合併浄化槽の保守点検、清掃、法定検査の維持管理を適正に行った浄化槽管理者に対し、補助金を交付することで、公共用水域の水質保全を図る。

## 6 防災・消防

- ① 防災倉庫備蓄品等整備事業（当初予算資料 P22） 予算額 26,070 千円  
大規模災害時における被災者の避難所での良好な生活環境の確保と新型コロナウイルス感染症対策として、間仕切り用パーティションやエアーマットなどの備蓄物資の配備を進める。
- ② 【新】避難所運営等におけるマイナンバーカード等活用調査研究事業  
（当初予算資料 P23） 予算額 1,000 千円  
避難所運営等における本人確認や個人情報の円滑な収集などの課題解決に向けて、マイナンバーカード活用の検討など、防災対策へのデジタル技術の活用について調査研究を行う。
- ③ 住宅・建築物耐震化促進事業（当初予算資料 P152） 予算額 408,912 千円  
木造住宅の無料耐震診断や耐震補強計画策定・工事費等への補助を実施するとともに、地震時に通行を確保すべき道路沿いの建築物の耐震診断や耐震補強計画、耐震改修への補助を実施し、耐震化を促進する。
- ④ 準用河川改修事業費（当初予算資料 P154） 予算額 198,000 千円  
治水安全度の向上を図るため、準用河川の拡幅等の改修を進める。  
・朝明新川、源の堀川
- ⑤ 南消防署整備事業費（当初予算資料 P192） 予算額 675,419 千円  
本市の南部臨海地域における消防活動拠点の機能強化を図るため、令和元年度から 4 か年事業として進めている南消防署の整備について、改築工事を行う。
- ⑥ 消防出張所整備事業費（当初予算資料 P194） 予算額 15,967 千円  
本市の西部地域に設置している北西出張所の機能強化を図るため、保々地区市民センター

に併設している北西出張所について、旧保々ふれあい会館跡地に保々分団車庫を併設し独立した庁舎整備に向け実施設計を行う。

- ⑦ **防災教育センターリニューアル事業費（当初予算資料 P195）** 予算額 15,100 千円  
VR等の最新技術を駆使し、市民が災害をよりリアルに感じることができ、実践的な対応を学ぶことができる機材の導入や施設の改修等に向けた実施設計を行う。

## 7 生活・居住

- ① **【拡充】地区市民センター機能強化事業（当初予算資料 P64）** 予算額 19,977 千円  
多様化する社会に対応するため地域社会づくりの核となる地区市民センターについて、プライバシーに配慮した窓口改修、歩行弱者のための階段昇降機設置、本庁とセンターをつなぐ窓口用タブレット端末導入により機能強化を進める。また、環境への配慮及び災害時の非常用電源としての風力・太陽光発電及び蓄電装置の試験的な設置に向けた設計を行う。
- ② **【拡充】防犯カメラ設置事業補助金（当初予算資料 P57）** 予算額 14,000 千円  
自治会等が通学路などに設置する防犯カメラに対する補助を引き続き実施するとともに、新たに自治会等の負担軽減を目的として、ごみ置き場に設置する防犯カメラについて、補助率の引き上げ（1/2→2/3）を行う。
- ③ **【新】女性のつながりサポート事業（当初予算資料 P65）** 予算額 6,000 千円  
コロナ禍で孤独・孤立による不安や悩みを抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、特定非営利法人等の知見を活かしたきめ細かい支援を行う。
- ④ **市営住宅長寿命化事業（外壁改修・EV 設置等）（当初予算資料 P155）** 予算額 292,320 千円  
市営住宅において必要な管理戸数の確保を図るために、四日市市営住宅等長寿命化計画に基づく適切な維持管理を実施する。また、高齢入居者の生活利便性の向上や空室が目立つ上層階の活用を図るため、市営住宅の一部の棟にエレベーター及びスロープ設置工事を行う。
- ・外壁改修：三重、寺方
  - ・エレベーター等設置工事：三重

## 8 健康・福祉・医療

- ① **【拡充】成年後見サポート事業費（当初予算資料 P73）** 予算額 27,249 千円  
市民への成年後見制度の周知・啓発を行うとともに、制度の利用を希望する人に対し、助言や裁判所への申し立て手続きの支援を行う。  
令和4年度からは、成年後見制度のさらなる利用促進に向け、成年後見サポートセンター事業の機能拡充を行い、地域連携ネットワークの担い手となる「中核機関」を設置する。
- ② **【新】認知症早期診断事業費（当初予算資料 P75）** 予算額 12,551 千円  
認知症は早期に発見し、適切な治療や支援につなげることで、認知症の進行及び重症化を抑える効果があることから、高齢者が無料で簡易な認知機能検査を受診できるしくみを整備



し、認知症の早期診断を促進する。

- ③【新】介護予防等拠点施設整備事業費（当初予算資料 P76） 予算額 245,000 千円  
高齢化の進行、民間サービスの充実など高齢者を取り巻く環境が変化する中で、老人福祉センターの機能を見直し、既存の中央老人福祉センターを、介護予防及び認知症支援の拠点施設として整備するための改修工事を行う。

- ④「歩く（ARUKU）」から始める健康づくり事業（市民健康づくり推進事業費）  
（当初予算資料 P70） 予算額 5,261 千円  
生涯にわたって、身近な場所で楽しみながら歩く・からだを動かすといった健康への関心を持つ機会を増やすため、健康情報冊子「ARUKU vol. 3」の発行、駅の階段や公園の路面への標示等による啓発、公園での健康づくり教室やウォーキングイベントの開催等により、継続的な実践につながる環境づくりの推進を図る。

- ⑤ 三重北勢健康増進センター空調設備及び中央監視設備更新工事  
（施設整備事業費（アセットマネジメント））（当初予算資料 P77）  
予算額 357,000 千円  
現在の空調設備と中央監視設備について、運用開始から 20 年以上が経過し、更新が必要な時期となることから、公共施設アセットマネジメント事業の一環として更新工事を行う。空調設備については、ライフサイクルコストの抑制が可能なガス空調設備に切り替える。

- ⑥【新】食品衛生検査所施設整備事業（当初予算資料 P78） 予算額 10,600 千円  
保健所政令市として、市独自の衛生検査施設を鈴鹿山麓リサーチパーク内に整備するため、地質調査及び基本設計を行う。

- ⑦ 新型コロナウイルス感染症対策事業費（当初予算資料 P80） 予算額 435,439 千円  
新型コロナウイルス感染症の早期発見、拡大防止のため、予防方法や有症状時の対応について広く市民へ情報を発信するとともに、陽性判明後迅速に対応できるよう保健所の体制を強化する。  
また、自宅療養となる方に対し飲料や医療機器の迅速な提供や、医療機関等における検査に要する費用、感染者の入院医療費を一部負担することにより、療養を支援する。

- ⑧ 新型コロナウイルスワクチン接種・接種体制確保事業費（当初予算資料 P32）  
予算額 2,109,000 千円  
感染拡大防止及び重症化予防の観点から、初回接種（1・2 回目接種）を完了した 18 歳以上のすべての方に対して、追加接種（3 回目）の機会を提供するため、本市における接種体制の整備を行うとともに、初回接種も継続して行う。

## 都市経営の土台・共通課題

- ① AI・RPA 等の ICT 活用促進事業（当初予算資料 P40） 予算額 27,960 千円  
AI（人工知能）・RPA（ロボットによる自動化）等の ICT の利活用により職員の働き方改革を進め、市民に寄り添った対応など職員でなければできない、より価値のある業務に注力することで、市民サービスの質の向上を図る。

- ② **情報システム最適化推進事業（当初予算資料 P41）** **予算額 55,200 千円**  
現行の保健福祉や介護保険システム等の更新時期にあわせて、標準パッケージを用いた業務システムを導入することで、業務プロセスの見直しを行い、情報システムの標準化を図る。
- ③ **官民データ利活用事業（当初予算資料 P42）** **予算額 38,200 千円**  
行政や企業等が保有しているデータ（官民データ）を容易に利活用することができる環境（データプラットフォーム）を整備することにより、官民データを基にした市民サービスの向上や地域課題の解決を図る。
- ④ **マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化事業（当初予算資料 P43）** **予算額 36,615 千円**  
マイナンバーカードを活用し、自宅等で各種手続がオンラインで申請できるシステムの導入を図るとともに、行政手続にかかる手数料のキャッシュレス決済などの実証実験を行い、市民の利便性の向上に向けた取り組みを行う。
- ⑤ **マイナンバーカード取得促進事業（当初予算資料 P66）** **予算額 349,453 千円**  
マイナンバーカードの更なる取得促進を図るため、企業等での出張申請やショッピングセンター等での申請サポートによる申請機会の拡大や交付体制の充実を図るとともに、マイナンバーカード交付予約システムとコールセンターを併せて運用し、より円滑な交付業務を行う。
- ⑥ **シティプロモーション推進事業費（当初予算資料 P106）** **予算額 46,916 千円**  
本市のさまざまな魅力を取り上げるテレビ番組を制作し、市内・県内のみならず名古屋圏でも視聴できるように放送する。また、公式 SNS アカウントの中で市民等が自ら本市の魅力を発信することを支援し、併せて情報発信のインフルエンサーを活用することなどにより本市の都市イメージの向上とシビックプライドの醸成を図る。

## 4. 特別会計の主な内容

### (1) 競輪事業 (当初予算資料 P113)

予算額 22,550,000 千円

(③ 20,790,000 千円)

コロナ禍の影響もあり本場や場外での売り上げが減少している反面、自宅からでも投票ができるインターネット投票の売上が好調である中、四日市競輪場では、ニコニコ生放送や YouTube ライブを活用するなどネットユーザー向けの広報施策に注力しながら、売上確保に努めていく。また、引き続き、電話・ネット投票の売上が中心となっているナイトー競輪に主軸を置いた事業展開を進め、一般会計への繰り出しを継続していく。

(開催日数 ③53 日 → ④55 日)

なお、繰出金については、一般会計へ 180,000 千円を繰り出す。

車券売上金 ③19,000,000 千円 → ④20,800,000 千円 (1,800,000 千円)

### (2) 国民健康保険 (当初予算資料 P81)

予算額 25,781,000 千円

(③ 28,036,000 千円)

国民健康保険は、高齢者の加入割合が高く、医療費が増加する一方、加入者の所得水準が低いという構造的な問題を抱えている。保健事業や保険料の収納対策に積極的に取り組むと同時に、支払準備基金を活用しながら適正な保険料率を設定し、安定的な運営に努めていく。

保健事業については、被保険者が健やかに暮らしていけるよう、がん検診や脳ドックの助成といった各種保健事業を引き続き実施するとともに、特定健康診査の受診率や特定保健指導の利用率の向上、糖尿病性腎症重症化予防事業の推進に取り組んでいく。

収納対策については、きめ細やかで丁寧な納付相談を行う一方、支払い能力がありながら納付しない滞納世帯に対しては、財産調査を徹底し滞納処分を行う。また、口座振替の勧奨、電話や文書での催告など、初期末納対策に取り組んでいく。

被保険者数 ③55,596 人 → ④52,732 人 (△2,864 人)

一人当たり保険給付費 ③354,662 円 → ④336,197 円 (△18,465 円)

### (3) 食肉センター食肉市場 (当初予算資料 P113)

予算額 717,000 千円

(③923,000 千円)

消費者へ、より安全で高品質な食肉を安定供給するため、施設・設備の計画的な更新整備や適切な施設維持・衛生管理を実施し、施設の安定稼働に努める。

また、家畜搬入車両の場内一方通行化に伴う敷地拡張について、隣接する県有地確保の調査・検討を行う。

施設整備事業費 ③397,820 千円 → ④177,800 千円 (△220,020 千円)

- ・施設内 LED 化工事 (3 期工事) ほか
- ・アセットマネジメント (豚部分肉カット棟キュービクル更新工事 ほか)
- ・食肉センター敷地拡張にかかる調査・検討

施設維持管理事業費 ③156,616 千円 → ④174,861 千円 (18,245 千円)

令和 4 年度末市債残高見込 797,673 千円 (③782,517 千円)

**(4) 農業集落排水事業（当初予算資料 P200）**

**予算額 410,300 千円**

**(③402,300 千円)**

農村集落の生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

施設維持管理経費（11地区） ③201,793 千円→④220,210 千円（18,417 千円）

令和4年度末市債残高見込 ④1,325,028 千円（③1,443,048 千円）

**(5) 介護保険（当初予算資料 P83）**

**予算額 22,839,000 千円**

**(③22,330,000 千円)**

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて、必要な介護サービスの提供、医療・介護連携の推進、地域における介護予防や生活支援の取り組みの充実に努めるとともに、認知症の人や家族が安心して暮らせるための施策を推進する。

① 高齢者の元気づくり支援事業（当初予算資料 P85）

予算額 74,591 千円

高齢となってもできるだけ介護が必要とならないよう、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、民間介護サービス事業所のリハビリテーション専門職などとの連携のもと、介護予防意識の啓発、住民主体の介護予防活動・健康ボランティアの育成・支援を進める。

また、令和4年度から「保健事業と介護予防の一体的実施事業」を開始し、疾病やフレイル予防に係る普及啓発活動を行う。

② 認知症総合支援事業

予算額 63,524 千円

認知症の人や家族が安心して生活できる共生社会を実現するため、イベントの開催や学校、企業などへの啓発を進め、認知症に関する地域の理解を促進するとともに、早期発見・早期対応体制の充実に努める。また、認知症の人や家族が安心して暮らせるようにするための見守り支援事業を実施する。

**(6) 後期高齢者医療（当初予算資料 P86）**

**予算額 7,084,000 千円**

**(③6,848,000 千円)**

県内の29市町で構成する三重県後期高齢者医療広域連合が、75歳以上の後期高齢者等が加入する医療保険制度の運営主体となり、資格認定・管理、被保険者証の交付、保険料の賦課、医療費給付、後期高齢者健康診査などの事務を行う。市は保険料の徴収や窓口での申請受付などの役割を担う。

被保険者数 ③41,078 人→④43,336 人（2,258 人）

後期高齢者医療広域連合納付金

③6,724,027 千円→④6,958,154 千円（234,127 千円）

## 5. 企業会計の主な内容

### (1) 水道事業（当初予算資料 P198）

予算額 11,951,955 千円

(③11,715,534 千円)

安全安心で良質な水道水を供給していくため、大規模地震に備えた基幹施設の耐震化の推進及び経年施設の更新等を進めるほか、減衰している取水能力を回復させるため水源確保に取り組む。

第3期水道施設整備事業 ③2,263,000 千円→④2,241,000 千円 (△22,000 千円)

- ・基幹施設耐震化
- ・経年管路、経年施設更新
- ・水源確保（取水井更新）

令和4年度末企業債残高見込 ④11,534,724 千円 (③11,870,446 千円)

### (2) 市立四日市病院事業（当初予算資料 P206）

予算額 25,789,289 千円

(③27,071,500 千円)

第四次市立四日市病院中期経営計画（令和3～7年度）の重点項目に掲げるDPC特定病院群の指定を堅持するため、高い診療密度の維持、難易度の高い手術の実施、重症患者に対する診療の実施に必要な最新の医療機器の導入・更新や施設の整備を図る。

- ・昭和53年の移転新築以来、未改修のままである配管・配線類等のインフラや薬局、中央検査室、中央放射線室を中心とした部門改修に併せて、患者支援のための入退院支援部門の新設および院内セキュリティ対策の強化などを行う。令和4年度は、令和8年度の完成を目指して工事に着手する。

病院施設大規模改修事業 ③99,000 千円→④223,800 千円 (124,800 千円)

- ・患者に安全、安心で高度な医療を提供するため、コンピュータ断層撮影装置、生体情報モニタリングシステム、超音波診断装置などの医療機器等の整備更新を図る。

医療機器等整備事業 ③500,000 千円→④500,000 千円 (0 千円)

令和4年度末企業債残高見込 ④11,330,322 千円 (③11,757,966 千円)

### (3) 下水道事業（当初予算資料 P199）

予算額 27,488,558 千円

(③27,235,633 千円)

- ・生活環境の向上及び川・海などの公共用水域の水質保全を図るため、汚水管渠整備を推進するとともに、既存施設の更新に努める。

公共下水道污水対策事業 ③3,849,600 千円→④4,158,000 千円 (308,400 千円)

- ・管渠整備（各地区における整備）
- ・管渠更新（団地内老朽管及びストックマネジメント計画に基づく管更生）
- ・施設整備（ポンプ場の整備、施設の増設）
- ・施設更新（既存施設の耐震化、更新）

令和4年度末下水道普及率 ④82.5% (③81.5%)

- ・市民の生命・財産を守る「雨に強いまちづくり」を進めるため、市街化区域の雨水排水施設の整備を推進する。

公共下水道雨水対策事業 ③3,367,000 千円→④3,011,000 千円(△356,000 千円)

- ・まつの雨水2号幹線(常磐地区)設計
- ・雨水調整池(日永地区)基本設計
- ・浜田通り貯留管ポンプ施設等整備
- ・近鉄四日市駅周辺等雨水排水施設整備
- ・施設更新(既存施設の耐震化、更新)

令和4年度末企業債残高見込 ④76,273,792 千円 (③78,126,799 千円)